

貸出キットの貸し出しについて

1、貸出キットの内容について

昭和館の常設展示室の内容をコンパクトにしたものとなっています。戦中・戦後の人々の暮らしがどのようなものだったかについて、解説文・写真のグラフィックパネル、実物資料、映像で構成した展示セットです。一部、単体でも貸し出しています。

※ただし、体験展示を目的としたものではありませんので、資料等に直接触れることはしないようにご指導ください。

内容については別紙参照

2、貸出キットの貸し出しについて

① 展示期間

展示期間は、原則7日間以内とさせていただきます。発送期間は、運送に日数がかかる地域に関しては貸出日数を延長させていただきますので、担当者にご相談ください。

② 貸出費用

借用料は無料です。ただし往復の運送費は、借受人がご負担下さい。

営利目的の貸し出しは行っておりません。

③ 貸出中の責任

貸出期間中における資料の運搬及び保管については、借受人が責任を持って行い、汚損・破損・紛失などしないようご注意ください。

夜間は、施錠を行い、紛失等にご注意ください。

資料等に問題が発生した場合には、直ちに昭和館学芸部へ連絡をとり、職員の指示に従うようにしてください。

借受人が特記事項に違反したときには、承認を取り消すことがあります。その際に生じた諸経費について当館はその責任を負いません。

④ 申請書・報告書

申請書に記載した目的以外には使用しないでください。別の目的で使用するときにはあらためて申請書を提出してください。

事業が終了したときは、実施報告書を必ず提出してください。

その他、不明な点については、昭和館の担当者に相談してください。

3、申し込みから返却までの流れについて

① 予約状況を電話でお問い合わせください。HPで書類をダウンロードするか、FAXで書類をお送りします。貸出物と貸出期間、展示期間などを決め、借用申請書をFAXしていただいて仮予約となります。重なった場合には、予約順とさせていただきます。

② FAXした書類に問題がなければ連絡しますので、代表者印を押した上で、郵送してください。

申込先・問い合わせ先：

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-1

昭和館学芸部 TEL03-3222-2577

FAX03-3222-2575

<映像のみの貸し出しの問い合わせ先>

昭和館 映像・音響室 03-3222-2574

2、貸出キットの内容

【貸出キット（大）】

- ・ 教室程度の広さの展示用
 - ・ 送料が高め（実費負担）
- ① グラフィックパネル31枚（B2サイズバッグ）

- ② 実物資料（2箱ウレタンBOX内収納）

1号 A：82cm×62cm×60cm B：82cm×53cm×60cm

2号 A：82cm×61cm×43cm B：82cm×61cm×50cm

- ③ オーラルヒストリー（証言映像）（②に同梱）



- ① グラフィックパネル（全31枚を手さげケースに収納）

解説「家族の別れ」 解説「出征」 図解「兵員数の推移」 写真「出征兵士の見送り」 解説「無事を祈る」
解説「統制下の暮らし」 解説「統制のはじまり」 解説「代用品」 ポスター「貴重な資源をお役に立てませう」
解説「配給」 解説「戦中の学童・生徒」 解説「戦中の学校」 図解「学徒勤労働員数の推移」 写真「学徒勤労働員」
解説「学童疎開」 図解「学童疎開先の分布」 写真「学童疎開先の生活」 解説「銃後の備えと空襲」
解説「銃後を護る組織と制度」 解説「空襲への備え」 解説「空襲」 図解「空襲被害地図」
解説「昭和20年8月15日」 新聞「終戦の日の新聞」
解説「廃墟からの出発」 解説「戦後の食糧事情」 解説「戦後の住宅事情」 解説「闇市」 解説「混乱期の生活」
写真「復員」 写真「DDT」 解説「遺された家族」 解説「終戦の日の新聞」 図解「全国戦争未亡人数」
解説「子どもたちの戦後」 解説「昭和館について」

- ② 実物資料

〔戦中〕 臨時召集令状・はがき・ナイフ・フォーク（陶製）・栓抜き（陶製）・衣料切符・債券・通信票・学徒勤労働員時の腕章・疎開先で描いた絵・防火用砂袋・警防団員手帳・時局防衛必携・軍隊手帳・鉄かぶと・防空頭巾・防毒面・慰問袋・千人針・婦人会たすき・名札・伝単・婦人雑誌

〔戦後〕 引揚証明書・パン焼き器・ランドセル・湯たんぽ・少年倶楽部・赤本マンガ・カストリ雑誌・墨塗り教科書・筆箱・ジープ・鍋（ジュラルミン製） など

- ③ オーラルヒストリー（証言映像）

- ・ 総集編のDVDを②に同梱

【貸出キット（小）】

- ・コンパクトな展示用、学校向け
- ・送料が安め（実費負担）

3号・4号：82cm×61cm×43cm

①実物資料+②グラフィックパネル+③DVD（すべて同梱）



①グラフィックパネル（A2サイズ、23枚）

解説「家族の別れ」 図解「兵員数の推移」 写真「出征兵士の見送り」 解説「昭和10年頃の家庭」 解説「統制下の暮らし」 解説「戦中の学童・生徒」 図解「学徒勤労働員数の推移」 写真「学徒勤労働員」 解説「銃後の備えと空襲」 図解「空襲被害地図」 解説「昭和20年8月15日」 解説「廃墟からの出発」 解説「遺された家族」 解説「子どもたちの戦後」 解説「復興に向けて」 解説「昭和館について」

②実物資料

〔戦中〕 臨時召集令状・はがき・栓抜き（陶製）・湯たんぼ（陶器製）・衣料切符・債券・通信票・疎開先で描いた絵・防火用砂袋・警防団員手帳・時局防衛必携・軍隊手帳・警防団員・防空頭巾・防毒面・慰問袋・千人針・婦人会たすき・名札・伝単

〔戦後〕 引揚証明書・パン焼き器・ランドセル・湯たんぼ・少年雑誌・赤本マンガ・カストリ雑誌・墨塗り教科書 など

③オーラルヒストリー（証言映像）

- ・総集編のDVDを②に同梱

【「昔の道具パネル」(小学3・4年生用)】

- ・小学3・4年生の「昔の道具とくらし」学習向け
- ・専用ケースに入れて貸し出し
- ・貸出キット(小)に同梱することも可能
- ・送料は片道 1,500~3,000 円程度(実費負担、金額は地域により異なります)

1. パネルの内容

(1) 「昔の道具のうつりかわり」パネル A2サイズ×2枚

※2枚を合わせて一つの表となります。



(2) 道具の解説パネル A2サイズ×4枚

- ① せんたく 1枚
- ② 食事 2枚
- ③ 情報を伝えるもの 1枚



(3) 道具クイズカード A5サイズ×11枚

上記(1)(2)で紹介されている道具についての短い文章が書かれてあり、何の道具についての文章なのかを考えるクイズカードです。裏面に答えがあります。

布を張りつけるときは、ゆがまないように、布の目をそろえながら、板のはしと布のはしが平行になるように張るのよ。

(「ホブディア情報誌のくらし、ホブラ社」)

一枚の板の表と裏を両方使って、日なたに置くとすぐに乾きました。そして、乾いたら下から持ち上げてピーッとはがします。この作業も子どもがよく手伝ったものでした。

(「楽しい出立準備 昭和の暮らしと今 エッセイ」)

●●●はね、長い間使っていると「たが」がずれる。すると、水がもれちゃって使い物にならなくなるだろ。●●●が使えなくなると、●●●を買った「おけ屋さん」に持って行って、直してもらおう。直すのも商売なんだよ。

(「くらへてみよう! 昭和のくらし! 生活 学習研究社」)

(4) グラフィックパネル A2×23枚

解説「家族の別れ」 図解「兵員数の推移」 写真「出征兵士の見送り」 解説「昭和10年頃の家庭」
解説「統制下の暮らし」 解説「戦中の学童・生徒」 図解「学徒勤労働員数の推移」 写真「学徒勤労働員」
解説「銃後の備えと空襲」 図解「空襲被害地図」 解説「昭和20年8月15日」 解説「廃墟からの出発」
解説「遺された家族」 解説「子どもたちの戦後」 解説「復興に向けて」 解説「昭和館について」

※貸出キット(小)のグラフィックパネルと同じ内容のものです。

2. その他

貸出キット(小)と一緒に使用する場合は“「昔の道具パネル」利用者へ__貸出キット例”(別紙)をご参照ください。

【オーラルヒストリー（証言映像）】

- ・証言映像のみの貸し出しも実施しています。
- ・各DVD1枚
- ・映像のみの貸し出しの場合には、下記の3種類から選択できます。
- ・貸出キットには、総集編が同梱されています。

＜映像のみの貸し出しの問い合わせ先＞

昭和館 映像・音響室 03—3222—2574

疎開体験編			
在住	タイトル	お話の主な内容	時間
東京都	疎開での苦労と空襲の恐怖	・19年8月に学童疎開、寺や屋外で授業をした。 ・20年5月の空襲で被災。姉妹で戸越公園へ逃げたときの様子、戸越公園隣の小学校が燃えるのを見ながら、一夜を明かす。	15'15"
東京都	お寺での学童疎開	・昭和19年8月より21年3月までの埼玉県菖蒲町での学童疎開の体験。	9'45"
東京都	下館県立高等女学校での思い出	・疎開中、農作業の手伝いをした時の体験。 ・疎開先の女学校に兵隊が来て、くぎ抜き作業をしたり、山で開墾作業をした。	9'40"
神奈川県	疎開・空襲・占領体験を越えて	・疎開体験(いじめ) ・5月29日の横浜空襲体験 ・終戦の思いと、戦後の生活について	14'43"
神奈川県	父の郷里へ縁故疎開	・父の出征見送りの様子 ・縁故疎開先での生活や苦労体験 ・父の戦病死の報を受けた時のこと	14'06"
千葉県	疎開と食糧難の時代を体験して	・疎開先の小学校での体験 ・一家を支えるためヤミ米を売ったり、小学校を出てすぐに働き始めたこと	12'31"
沖縄県	対馬丸から生還した少女	・乗船していた対馬丸が魚雷を受け沈没していく時の状況 ・遭難、姉との別れ、筏に乗り漂流を続けた数日間	13'08"
空襲体験編			
在住	タイトル	お話の主な内容	時間
東京都	ふたつの大空襲	・2月25日から26日にかけての神田地区での空襲体験 ・3月10日の大空襲を見たときの様子	9'43"
東京都	言問橋のたもとで	・3月10日に言問橋の下で被災した体験 ・その後ご本人が見た被災地の悲惨な様子	13'47"
東京都	空襲の被災と行商生活	・立川空襲で母を亡くした時の様子 ・戦後、かつぎ屋をした体験	14'03" 4'30"
神奈川県	全てを奪った空襲	・5月29日の横浜空襲時の様子 ・空襲直後の生活と、終戦後の苦労体験	15'26"
千葉県	千葉市空襲の惨状と戦後	・千葉市空襲の体験	9'31"
栃木県	火傷を負った空襲	・宇都宮空襲当日の状況 ・空襲で火傷を負い、病院を転々とした体験	10'44"
東京都	自分ひとりじゃないから・・・	・前橋をはじめ各地での空襲体験 ・夫が戦死した際の様子	12'35"
新潟県	我が子を奪った長岡空襲	・8月1日、長岡空襲で長女を亡くした体験	13'12"
福井県	福井空襲を語り継ぐ	・20年7月、郵便局で勤務中に福井空襲を体験 ・空襲を語り継ぐボランティアをしている	11'35"

総集編

在住	タイトル	お話の主な内容	時間
新潟県	我が子を奪った長岡空襲	・8月1日、長岡空襲で長女を亡くした体験	13'12"
東京都	言問橋のたもとで	・3月10日に言問橋の下で被災したときの様子。 ・その後ご本人が見た被災地の悲惨な様子。	13'47"
神奈川県	疎開・空襲・占領体験を越えて	・疎開体験(いじめ) ・5月29日の横浜空襲体験 ・終戦の思いと、戦後の生活について	14'43"
東京都	残された妻と息子への思い	・19年2月に結婚、翌月の夫の出征、翌年夫の戦死、その後に生まれた子供を抱えた生活 ・息子の父への思い	14'29"
栃木県	女子挺身隊と戦後の苦難	・昭和19年国谷飛行学校に女子挺身隊として勤めた時の体験 ・宇都宮空襲後のバラック生活や食糧難	13'09"
埼玉県	顔に怪我を負って	・昭和20年4月より、沖縄本土の米軍上陸が厳しくなり、島南方へと避難する際の体験 ・空爆を受けて顔面に負傷した時の体験	15'48"
神奈川県	農業で生きる	・終戦、シベリヤ抑留生活の体験から帰国まで ・帰国後、実家の農業を継いで生計を立てる ・遺骨収集の体験談	11'20"
東京都	中学生が見た戦後の東京	・昭和21年3月に疎開先から戻ってきたあとの、東京(靖国神社界限、進駐軍のカマボコ兵舎など)の様子。	15'59"

貸出キット借用申請書

平成 年 月 日

昭和館館長 様

団体・学校名	
代表者 (取扱者)	印 ()
連絡先	〒 — TEL — — FAX — —
資料送付先	〒 — TEL — — FAX — —

展示内容			
貸出物	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出キット 号 ・グラフィックパネル ・オーラルヒストリー (疎開 / 空襲 / 総集編) ・昔の道具パネル (単体 / 同梱) 		
使用場所			
入場予定者数		入場料	
展示使用期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
借用期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
配達指定日	平成 年 月 日		
借用方法	来館・送付	返却方法	来館・送付
備考			

平成 年 月 日

実施報告書

昭和館館長様

団体名

住所

電話

取扱者氏名

次の通り報告します。

借用期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
開催期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
会 場	
入場者数	
感想及び要望	
貸出キットを何で知りましたか？ HP チラシ・ポスター 他校からの紹介 その他（ ）	